

臨床薬理学セミナー

AMED 新興・再興感染症研究基盤創生事業（多分野融合研究領域）

医療ビッグデータ解析、臨床薬理学と細菌学の融合による薬剤耐性細菌感染症
に対する新規治療法開発プラットフォームの構築

研究代表者 石澤啓介

2022年

12月21日（水）17:30～19:00

藤井節郎記念ホール

細菌代謝経路から読み解く 抗菌薬相乗効果メカニズムの解明

港 雄介先生

藤田医科大学医学部微生物学講座・講師



略歴

2008年 3月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 修了

2019年10月 藤田医科大学医学部微生物学講座 講師

米国Oregon State University ポスドク、米国University of Minnesota 上級研究員を経て現職。2021年7月よりGHIT Fund から支援を受け、新規抗結核薬開発を目指した国際共同研究を実施中。

講演概要

抗菌薬には相乗効果を発揮する組み合わせがあるが、そのメカニズムはほとんど明らかにされていない。本講演は、演者らが近年明らかにした抗菌薬トリメトプリムとスルファメトキサゾールの相乗効果発揮メカニズムと、相乗効果が期待できる新規抗菌薬の創薬標的を同定するための我々の戦略について紹介したい。

既知の薬剤耐性機構を回避する 抗菌化合物の探索と創製

鈴木 仁人先生

国立感染症研究所薬剤耐性研究センター・主任研究官



略歴

2006年3月 東京大学大学院医学系研究科 修了

2017年4月 国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 主任研究官

東京大学医科学研究所・助教、米国Harvard Medical School・ポスドク、国立感染症研究所細菌第二部・主任研究官を経て、現職。2021年10月よりAMED-CREST感染症創薬基盤・研究開発代表者。

講演概要

現在臨床で問題となっている細菌の薬剤耐性機構の概論と、その機構を回避することが可能な新規抗菌化合物や既存抗菌薬の抗菌作用を増強させる抗菌アジュバントの開発について我々の試みを紹介したい。

※ 本セミナーは大学院医学研究科、医科栄養学研究科、口腔科学研究科の大学院特別講義を兼ねています。

主催: 大学院医歯薬学研究部 臨床薬理学分野（内線 3392）
共催: NPO法人 徳島医学研究・教育支援機構